

第1回 市庁舎跡地活用市民ワークショップ

～市庁舎跡地の活用を考えよう！～



平成 28 年 2 月 27 日 (土)

岐阜市役所 大会議室

1. はじめに

➤ 現庁舎の移転

岐阜市の現庁舎が老朽化とともに様々な課題を抱え、移転することになりました（H26年11月市議会定例会で決定）。

➤ 移転後の跡地活用が課題

移転の理由が「老朽化」「バリアフリー対応の困難性」「維持管理費」「アスベスト問題」など多岐にわたるため、現庁舎の建物を残して使うことはありません。そのため、建物を取り壊したあとに土地（跡地）ができることになります。

➤ 市民とともに考える

そこで、市民の皆様のご意見やアイデアを参考に、市本庁舎と市南庁舎における移転後の跡地活用方法を検討するため、「市庁舎跡地活用市民ワークショップ」を開催することといたしました。ワークショップを通じて、跡地の活用について一緒に考えましょう。

2. 現庁舎跡地活用のスケジュール

現庁舎の位置は、岐阜市あるいは中心部のまちづくりに重要な場所です。そのため、現庁舎の跡地活用についての検討をじっくりと進めていきます。

なお、平成32年度に新庁舎が完成し、その後、現庁舎を速やかに解体・撤去しても、跡地の整備事業の着手は平成35年以降になると見込まれます。

現庁舎跡地活用のスケジュール（想定）

内容	H27	H28	H29	H30~34	H35以降
基本構想策定	→				
市民意見	アンケート ワークショップ				
外部有識者会議		→			
パブリックコメント			●		
基本計画、設計				→	
工事				現庁舎解体 →	着工 →

※スケジュールは最短の場合の予定を示しています。

3. 検討の基本方針

現庁舎跡地の活用について、市では次の5つを基本的な方針として考えています。

【5つの基本方針】

- ① 中心市街地におけるにぎわいの創出・連担に繋がる都市機能
- ② 今後の社会的変化も考慮した長期的な観点
- ③ ライフサイクルコスト等、将来負担の観点
- ④ 民間による整備も含め、幅広い民間活力の活用
- ⑤ 公共施設マネジメントの観点

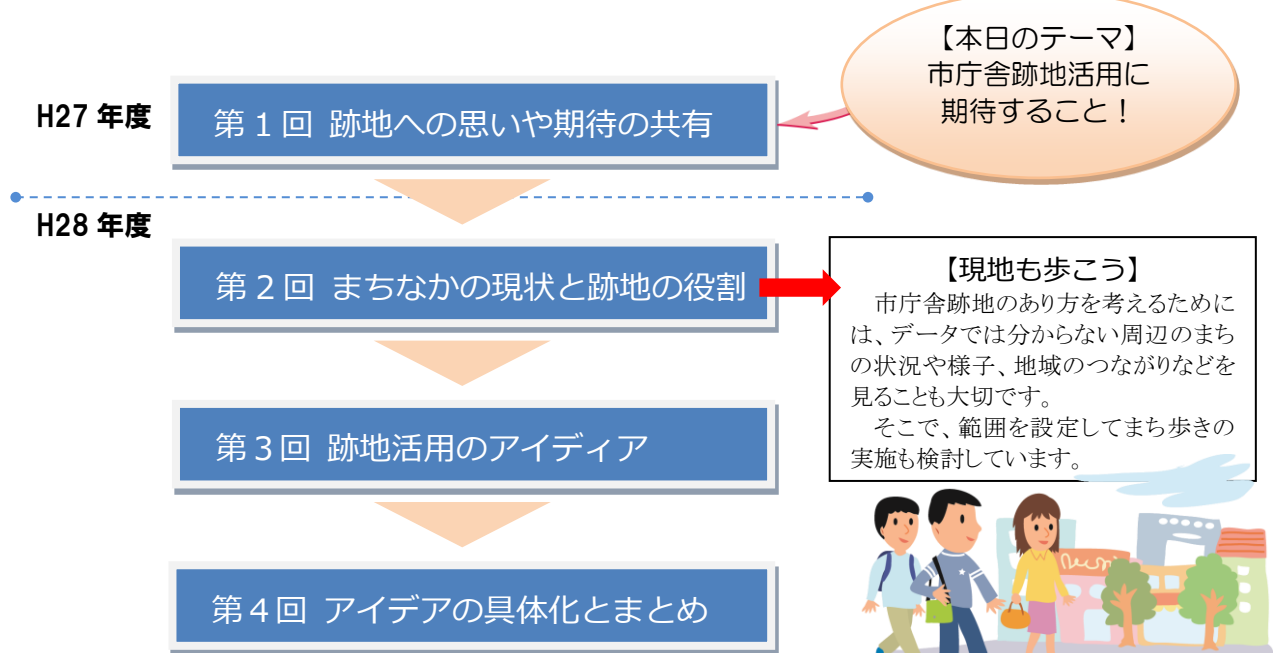
4. ワークショップについて

➤ ワークショップのねらい

このワークショップでは、具体的なアイデアやニーズについて意見や情報を共有しながら、皆様とともに考えていくことを目的とします。


➤ ワークショップの流れ

ワークショップは、全4回で以下のとおり予定しています。



※第2～4回は、平成28年6月～8月に開催予定です。
※内容は変更になる可能性があります。

➤ 今回のねらい



思いや期待を共有しよう！

- 皆さんは、今回どのような思いでご参加されましたか？
- 現庁舎跡地でおもしろいことができそう、市民としてこれだけは提案したい、などいろいろな思いがあると思います。
- 第1回は、そうした思いや跡地活用に期待することを共有しましょう。

なお、今回のワークショップの具体的な進め方は、P9「第1回ワークショップの進め方」に示します。

5. 現庁舎ってどんなところ？

▶ 現庁舎の立地について

跡地活用となる現本庁舎及び現南庁舎は、JR岐阜駅から北へ約1.5kmに位置し、現庁舎東側の長良橋通りと現庁舎西側の金華橋通りには、23路線のバスが走行しており、最寄のバス停からJR岐阜駅まで約8分、名鉄岐阜駅まで約7分という、公共交通機関によるアクセスが便利な場所にあります。

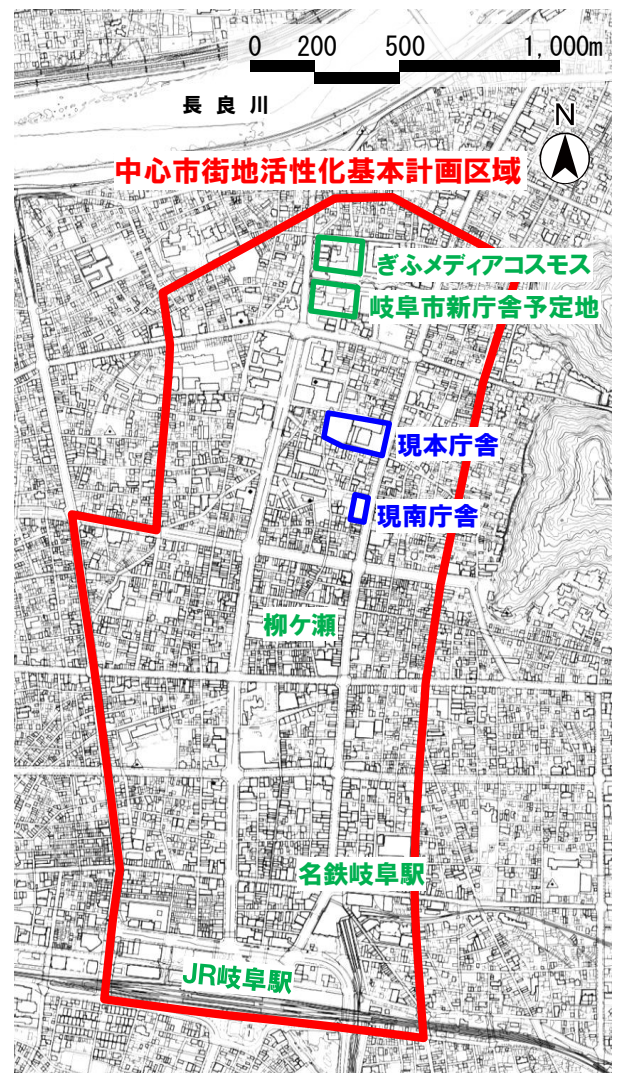
周辺には、「岐阜市新庁舎（予定）」、「岐阜市消防本部」などの行政施設、「みんなの森ぎふメディアコスモス」、「岐阜市民会館」などの文化施設、さらに「中部電力」、「NTT西日本」などの公益企業の他、右に示す周辺状況図のとおり様々な機関が立地しています。

また、岐阜市立図書館である「みんなの森ぎふメディアコスモス」と岐阜市の中心的繁華街である「柳ヶ瀬」の中間地点であり、にぎわい拠点の中継地点ともいえる位置にあります。

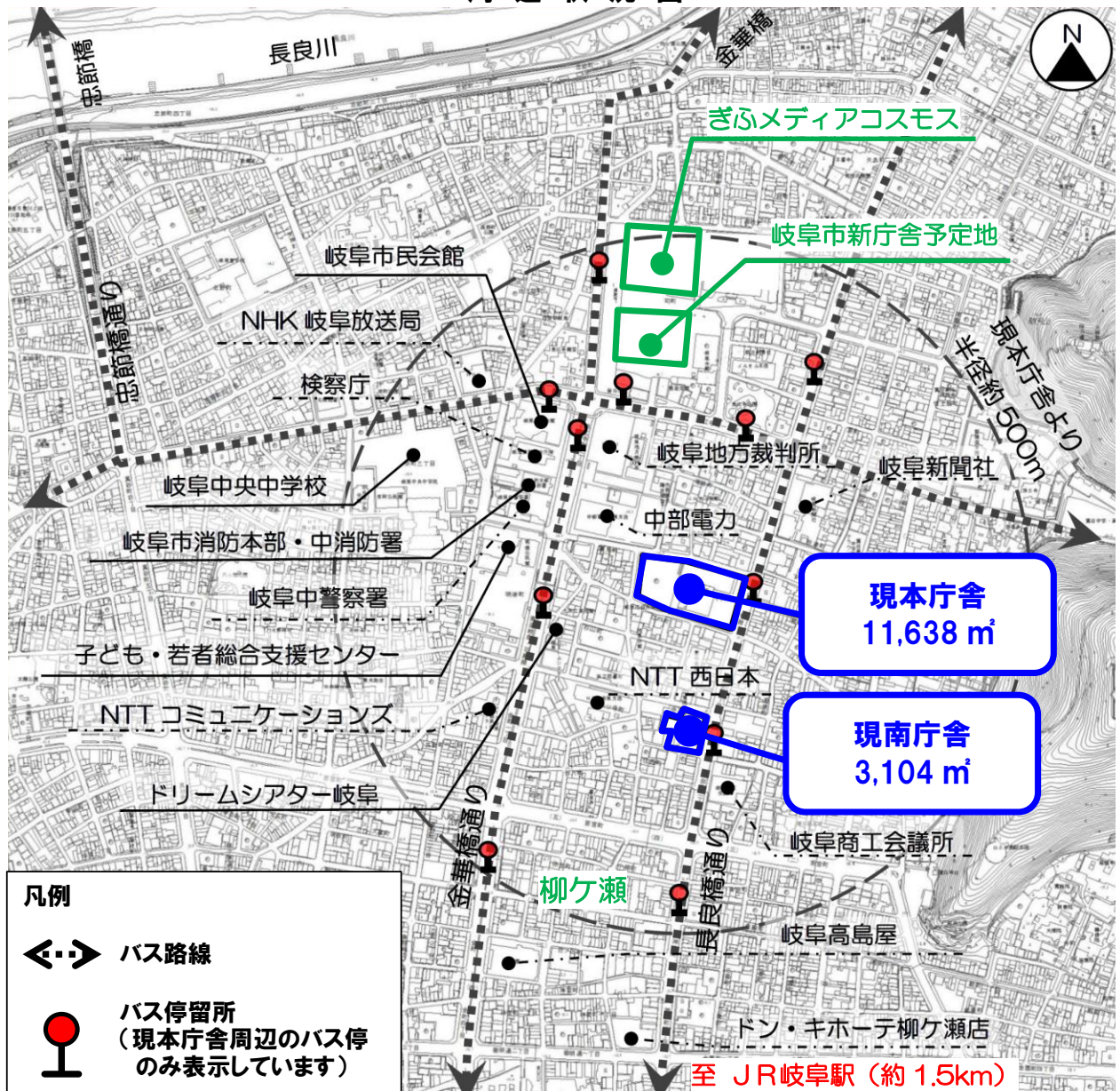
現本庁舎・現南庁舎の概要

現本庁舎		
敷地面積	現建物	
	竣工年次	延床面積
11,638㎡	昭和41年	17,439㎡
		
現南庁舎		
敷地面積	現建物	
	竣工年次	延床面積
3,104㎡	昭和35年	4,986㎡
		

位置図



周辺状況図



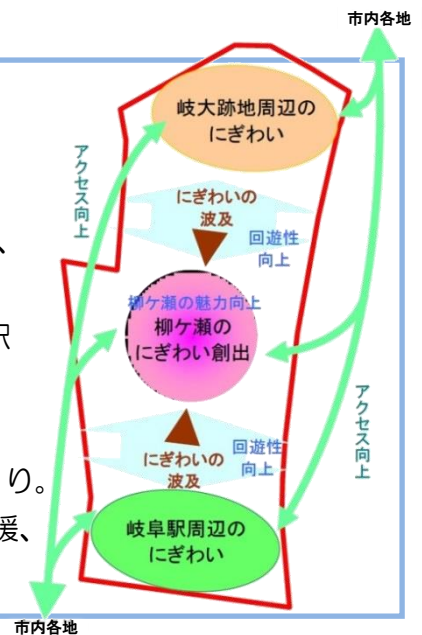
中心市街地活性化基本計画とは？ ～基本方針～

○ にぎわいの創出

- ・ 柳ヶ瀬のにぎわいを中心市街地全体の活性化につなげる。
- ・ 柳ヶ瀬における再開発事業や新規出店の促進、集客施設整備、イベント開催などで、柳ヶ瀬の魅力・集客力を高める。
- ・ 歩行・自転車走行の空間整備や公共交通の充実等で、岐阜駅周辺～柳ヶ瀬～岐大跡地の回遊性を向上させる。

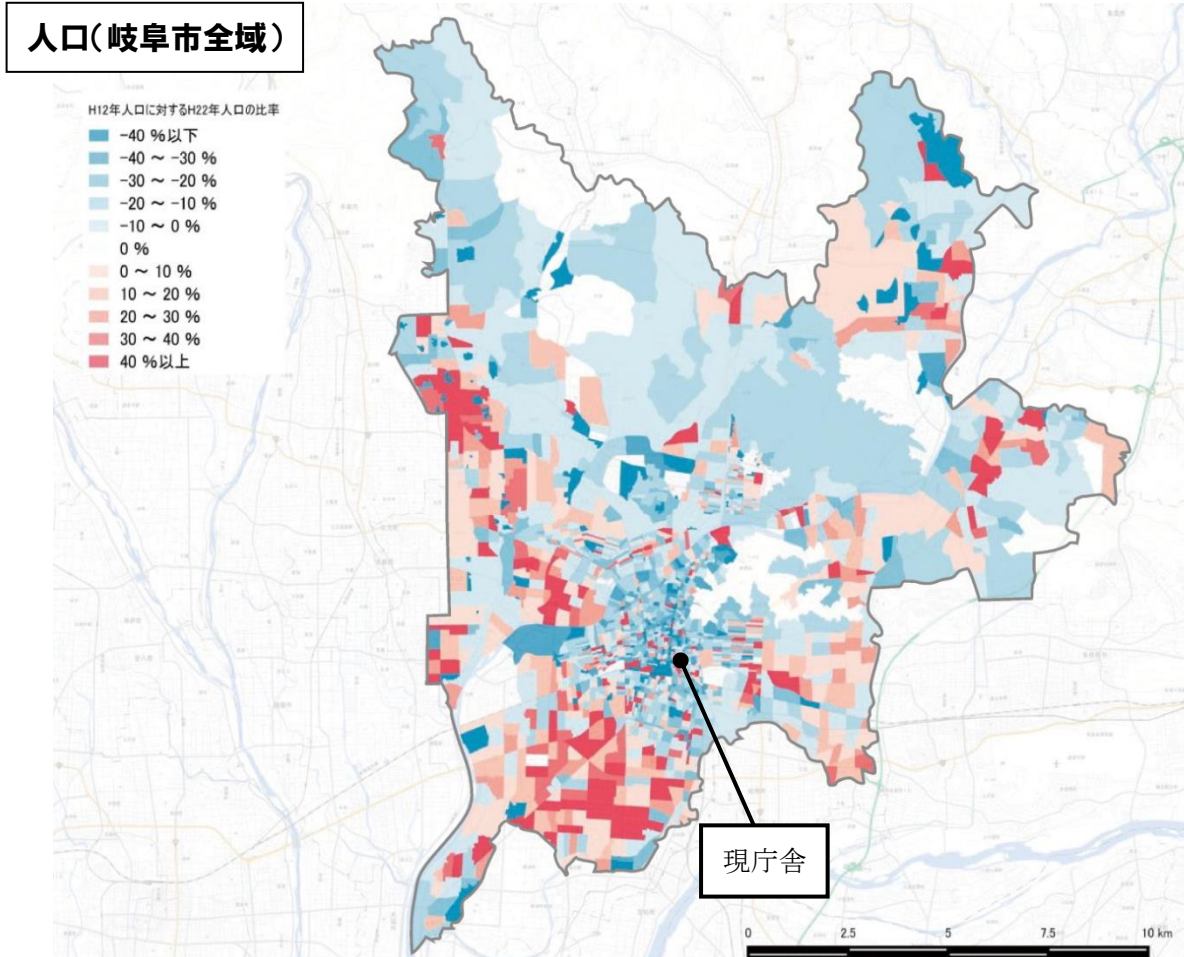
○ まちなか居住の推進

- ・ 高齢者・子育て世代など誰もが安心・快適に住めるまちづくり。
- ・ 再開発事業等による住宅供給・施設整備、まちなか居住支援、EVの普及促進等によるまちなか居住の推進。



➤ 人口の動向について

H12年人口に対するH22年の人口の増減をみると、岐阜市全域では5,673人の減少(-1.37%)、中活の地域では1,728人の減少(-13.11%)となっており、現庁舎跡地を含む中心部において減少傾向が顕著にあらわれていることがわかります。



近年の人口の比較

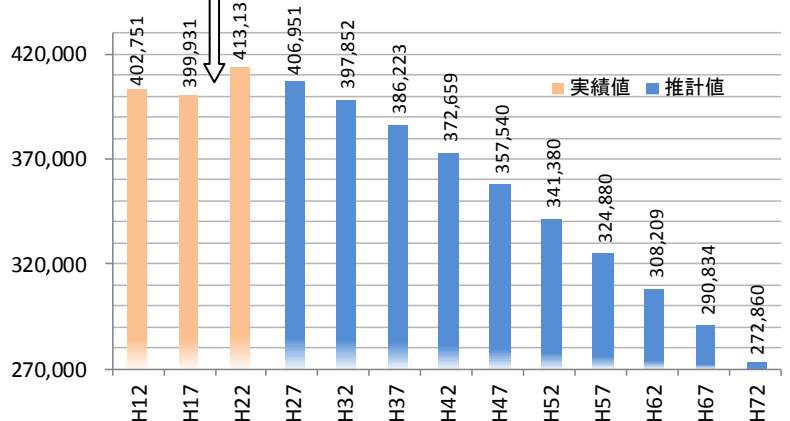
区分	H12 (人)	H22 (人)	H12→H22の増減	
			(人)	(%)
① 岐阜市全域	415,040 ^{※1}	409,367 ^{※2}	-5,673	98.6%
② 中活地域	13,183	11,455	-1,728	86.9%
③ ①-②	40,1857	397,912	-3,945	99.0%

出典:国勢調査

※1: H12は、H18年に合併する旧柳津町の人口12,334人を加算してある。

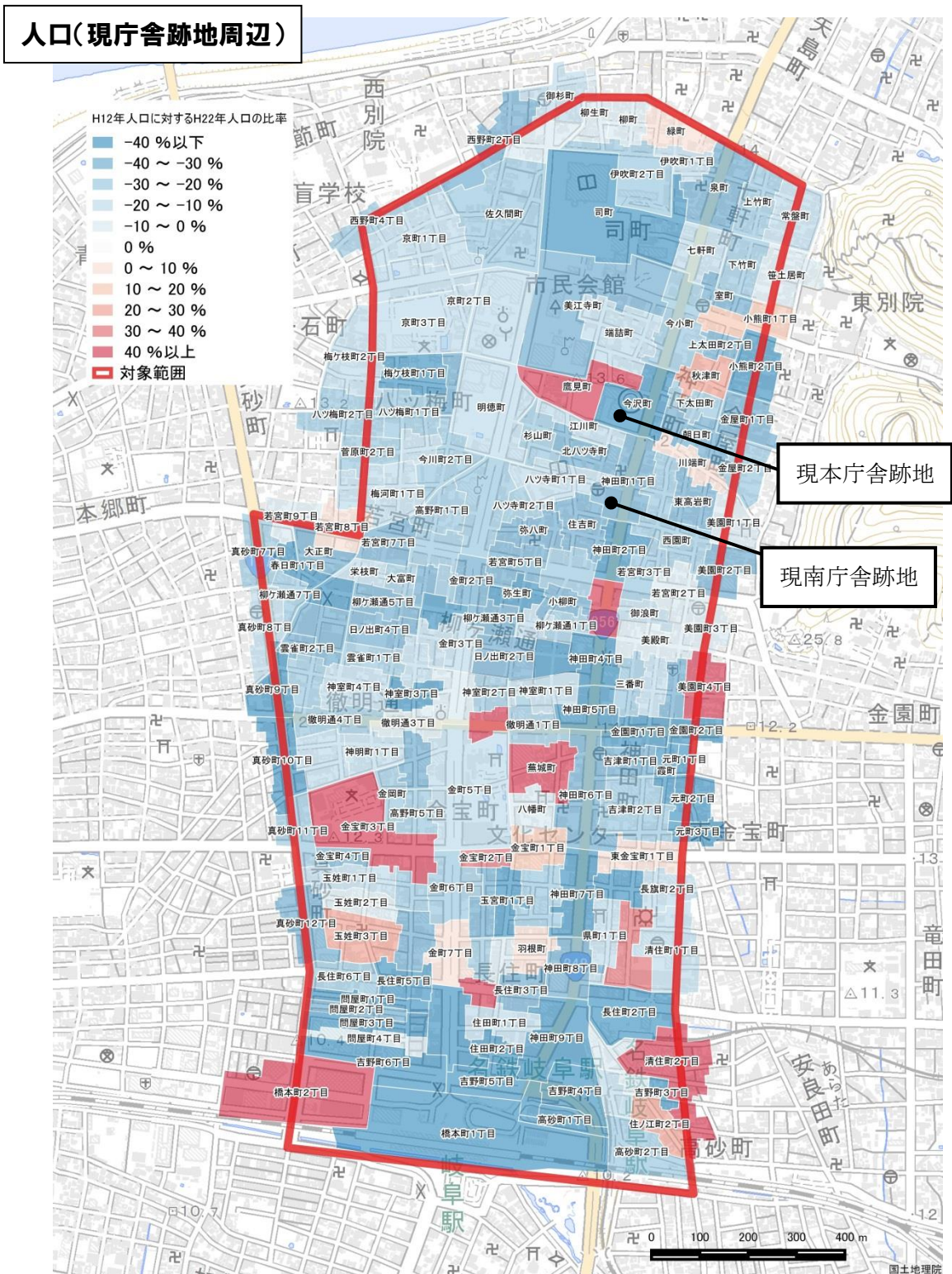
※2: H22の人口が右図の人口ビジョン内の数値と異なるのは、本表では年齢不詳人口を除いてあるため。

H18 柳津町合併 岐阜市全域の人口推計



出典:岐阜市人口ビジョンから抜粋加工

現庁舎跡地周辺地域でも、人口は全体的に減少傾向にあり、特に庁舎跡地より北側の地域では、ほぼ全ての町内で減少しています。

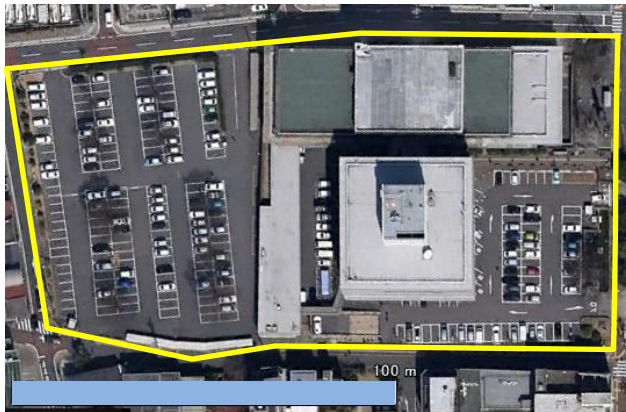


(出典：H12・22 国勢調査)



ワンポイント情報

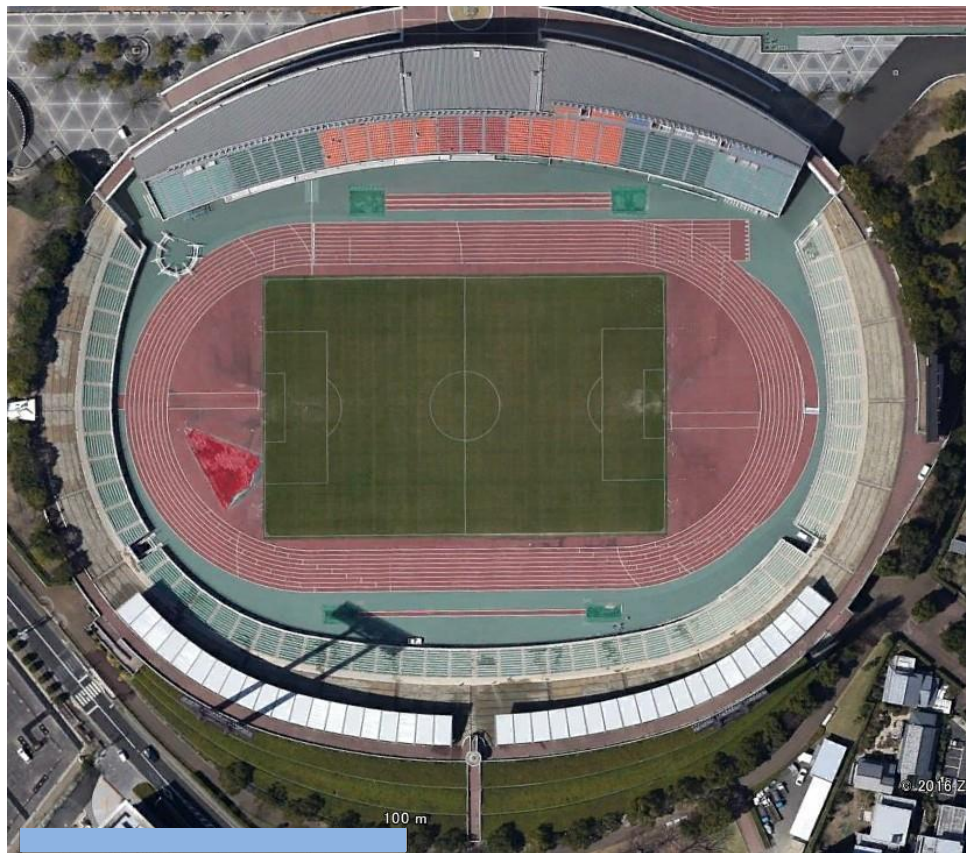
建物がなくなった時の広さは意外とイメージしにくいものです。
そこで、現庁舎（の敷地）の広さを他のものと比べてみましょう。
■が100mです。



【現在の岐阜市役所本庁舎】



【現在の岐阜市役所南庁舎】



【岐阜メモリアルセンター（陸上競技場）】



【 】これはどこでしょう？



【シティタワー43とスカイウィング37付近】

←【住宅地の例（岐阜市加納）】
持家住宅延床面積 岐阜県平均
149.4 m²/戸（2008年）→約150戸分



©GoogleEarth

6. 第1回ワークショップの進め方

本日のテーマ：市庁舎跡地活用に期待すること！

【意見交換の進め方】

- ① はじめに皆さんがうちとけるための簡単なゲームをします。
- ② 3グループに分かれます。
- ③ 本日のテーマ「庁舎跡地の活用に期待すること！」について、グループごとに意見交換します。
- ④ 発言内容は、スタッフがメモします。他の人の意見も参考にし、積極的に発言しましょう。
- ⑤ 進行役が合図をしたら、各グループとも意見整理をします。
- ⑥ 意見整理ができれば、各グループで発表者を決めましょう。
- ⑦ 発表者は、各グループの意見整理のまとめを約4～5分程度で発表します。

※ワークショップでは、参加者の主体的な話し合いを促すため、進行・調整役のスタッフがお手伝いに入ります。スタッフの進行にご協力ください。

ワークショップの心得(ルール)

- 他の人が話している時は、最後まで話を聞きましょう！
- 話は簡潔にまとめ、発言が長時間にならないようにしましょう！
- 積極的に意見を出し合い、みんなでたくさんの意見を出しましょう！
- それぞれの意見を尊重しましょう！（非難・中傷はご遠慮下さい）

**ルールを守って
楽しいワークショップ
にしましょう**



MEMO



～ありがとうございました。次回のワークショップの参加もお待ちしております。～